



aefe
Agence pour
l'enseignement français
à l'étranger

“de la maternelle au baccalauréat”

恵まれた環境

歴史の街京都は、経済の中心地大阪神戸へのアクセスも良く在生のご家族の皆様にも素晴らしい環境をお約束します。京都にはフランス総領事館、アンスティチュ・フランセ 関西、アーティスト・イン・レジデンス・フランスに縁の深い街でもあります。

プロジェクト

海外教育省AEFEに所属するリセでは多種多様なプロジェクトが企画され、その他のリセとの交流も可能です。

課外活動

スポーツ、アート、語学、監督官付き自習、預かり保育等様々な課外活動を提案しています。

サービス

LFIKは、お昼の給食(お弁当)、あずかり保育や自習などの学校の日常生活に関わるサービスも提供しています。

奨学金

フランスの国籍を持つ生徒はフランス政府の奨学金の申請が可能です。この奨学金は、一定条件のもとで学費の全額または一部を補填します。

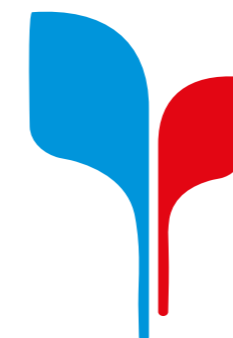
アクセス

五条駅(京都市営地下鉄)、清水五条駅(京阪)から徒歩8分、五条河原町バス停から徒歩4分です。

Lycée Français International de Kyoto
京都国際フランス学園

京都市下京区富小路通
五条上本神明町411
〒600-8065

Tel. : +81 (0)75-354 5240
www.lfikyoto.org
contact@lfikyoto.org



**LYCÉE FRANÇAIS
INTERNATIONAL
DE KYOTO**
京都国際フランス学園

LFIKとは?

京都国際フランス学園(LFIK)は1997年に設立された西日本唯一のフランス学校です。

APEK(関西保護者会)が学校を運営し、同理事会が学校の方針を決定します。APEKはフランスの「1902年のアソシエーション法」に則った非営利団体です。

LFIKはフランス海外教育庁(AEFE)の傘下にあります。AEFEのフランス学校は世界に500校あり、その教育方針として世界共通の普遍的価値(機会均等、知的好奇心、批判精神)を挙げています。

活動的で開かれたAEFEの世界的ネットワークに支えられることにより本校の教育は非常に充実したものとなっています。本校は幼児教育課程から中学6eの学年まで普通学級の認定を受け、また中学5e以降の学年も2007年にフランス教育省通信教育センター(CNED)との協定が成立し、幼児教育課程からバカロレアまで一貫教育が可能になりました。元有隣小学校校舎を改装し、2017年9月より、新しい環境の中で生徒保護者の皆様をお迎え申し上げます。

“un parcours scolaire complet,
des débouchés dans le monde entier.”

LFIKで学ぶ

LFIKではまずフランス語と日本語の二ヶ国語の習得に重点をおきます。日本語学習プログラムは幼児教育課程から始まります。中学高校ではさらに複数の言語を学ぶことができます。

言語の習得をサポートするため、フランス語の習得レベルによっては補習や小グループ授業をすることで、より早くフランス語を習得し生徒が自信をもって授業に臨める環境を作ります。様々なバックグラウンドを持つ生徒にきめ細かく対応することで、生徒が持つ能力を引き出し、学業の成功へと導きます。

LFIKでは幼稚園から高校3年生までの一貫教育が可能です。またAEFE海外教育省が管轄する世界中のフランス学校への転入が可能です。

マテルネル（幼児教育課程）

幼児教育課程はその後の学校教育において成果を出していくための重要な時期です。毎日学校に行きたいという気持ちを与え、子どもたちの個性を伸ばし開花させていきます。

子どもたちは日々を一緒に過ごすことで共に学び成長します。

話し言葉が発達し、書き言葉や数字、その他様々な分野のことを学び始めます。遊びつつ考えながら、自分たちの世界で起こる問題を解決しながら、実践しながら、思い出すと同時に記憶を蓄積しながら日々学習しているのです。

エレモンテール（初等教育課程）

第一目標は、フランス語と算数の基礎の習得です。道徳・市民教育も学習の一環に組み込まれています。CPからCE2の学年では、グローバル教育と美術造形教育がスタートします。

コレッジ（前期中等教育）

初等教育課程に続くコレッジの教育の中核となるのはしっかりとした知識と能力の習得です。学習の成果は、コレッジ最終学年3eで前期中等教育修了証書(DNB)により評価・証明されます。

リセ（後期中等教育）

リセの目標は、徐々に学業を専門化して高等教育で成果を上げることができるよう準備をすることです。

最終課程登録前に行われる2nde学年では進路についてのオリエンテーション授業(les enseignements de détermination)が行われ、生徒の関心分野や適性を確認して1ère学年時に行われるバカロレア予行試験(EA)及び最終Tale学年時に行われるバカロレア本試験に備えます。

進路指導

コレッジ6eからリセTaleまで多岐にわたる情報提供と進路指導を行います。生徒が実社会について知り、将来の職業への意識を持ったうえで進路を確定していくまで積極的にサポートします。

進路決定を支援できるように、進路指導カウンセラーや職業人を招いた説明会を催すほか、職業フォーラムや企業訪問、大学フェアにも参加しています。

バカロレア後の進路

LFIKの生徒の大半が卒業後フランスの教育機関を進路として選択します。また、フランスのバカロレア資格で日本やその他の外国の大学進学も可能です。

フランスの国外でバカロレアを取得したフランス国籍を持たない生徒で、かつ、成績優秀者にはフランス在外教育庁(AEFE)による特別奨学金が給付され、フランスにおいて高等教育を受けることが可能です。また、フランスの大学やグランゼコールと日本の有名大学との大学間協定や学位・単位相互認証協定制度が充実していくなど卒業生にとってより多くの進路が開けています。

